

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏名	オカ ケイイチロウ 岡 敬一郎	職名 教授 人間学部子ども教育学科	取得学位 修士(教育学) (大学名) 東北大学 (取得年月) 1999年3月
------------	--------------------	----------------------	---

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
1 教育方法の実践例		
・多様な資料の活用	2018年度～	初めて教育学を学ぶ学生に対しては、教育学に関心を持たせるとともに、講義の内容を現代的課題と結びつけていくことが必要と考える。そこで、新聞・雑誌記事や録画したテレビ番組などを活用して、学生が教育に関するさまざまな話題に触れられるように配慮してきた。
・グループ学習の導入	2018年度～	如何に優れた講義内容であっても、一方的に解説したのでは学生の意欲を喚起することはできないと考える。そこで、受講者を数名ごとのグループに分け、各グループに調査課題を与えるとともに、調査結果を発表させることによって、学生は積極的に講義に取り組むことができるようになった。
・学生が自ら考える講義の実施	2018年度～	多数の受講者がいる講義において、学生個人の意見を反映させることは容易ではない。そこで、講義中にテーマを与えてグループで討論させることによって、自己の意見を述べ合い、また他人の意見からも学ぶことができた。さらに、講義の最後に小レポートを課して、講義内容を振り返ることによって、学生が自らの思考を深めることができるようになった。
・ゼミにおける学校訪問	2018年度～	ゼミに所属する学生が見聞を広め、将来の教師としての活動に活かしてもらうことを目的として、特色ある学校を訪問している。訪問校については、学生の希望に基づいて、教科教室型の中学校、外国につながる児童が半数以上在籍する小学校などを選定し、連絡・調整を実施してきた。学習の成果をまとめ、大学祭の企画の一つとして発表させることにより、学生は理解を深め、自らの進路に対する思いを新たにしている。
・学生による授業評価アンケート	2018年度～	学生による授業評価アンケートでは、概ね高評価を得てきた。総合評価は 3

・授業支援システムの活用 2 作成した教科書・教材 ・学生による自主学修の報告集	2020 年度～	点満点中 2.8 点前後で推移している。とくに、「授業に教員の誠実さや真剣さ が感じられる」「この授業を受けて良かった」の項目の評点が高かった。 コロナ禍では講義中のコミュニケーションに制限がかかってしまうため、 respon や manaba などの授業支援システムを活用して、学生間の意見共有や 学生の理解度の把握を図っている。
	2018 年度～	上述のグループ学習の成果を報告集としてまとめ、受講者全員に配布する とともに、講義中に逐一解説を加えた。これによって、学生は自らの学習が講 義に生かされているという実感を得るとともに、学習の成果を相対化し、理解 を深めることができた。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
・資料紹介 射水市新湊博物館所蔵片口屋文書より南原繁書簡・葉書	単	2023.3	仙台白百合女子大学紀要第27号			27-36
・学校現場実習における学生支援の現状と課題－学生の運営参加に着目して－	共	2022.3	仙台白百合女子大学紀要第26号	荒井明子 関塚麻由		57-67
・教職実践演習の実践－保護者・地域住民対応に着目して－	単	2022.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第1号			35-37
・教育実習の事前事後指導の実践－異学年交流に着目して－	単	2022.2	仙台白百合女子大学教職課程研究センター報第1号			31-33
・学校現場実習における学生の期待・不安状況の分類化－実習に対する学生の意識調査から－	共	2021.3	秀明大学紀要第18号	関塚麻由 荒井明子		65-76
・射水郡長期の南原繁における教職観－「何たるべきか」の分析を通じて－	単	2021.3	仙台白百合女子大学紀要第25号			23-31

・書評 高橋寛人著『教育公務員特例法制定過程の研究－占領下における教員身分保障制度改革構想』	単	2020.10	教育制度学研究第 27 号、日本教育制度学会			274-279
・教育実践演習の効果的展開に向けた予備的考察－本学学生へのアンケート調査を通じて－	共	2019.3	秀明大学紀要第 16 号	荒井明子 関塚麻由		13-22
・南原繁の射水郡立農業公民学校設立構想の研究－戦後地方教育行政改革構想の思想的背景の視点から	単	2016.3	秀明大学紀要第 13 号			1-17
・会員制による生涯学習施策の展開－北海道滝川市を事例として－	単	2010.9	『生涯学習－多様化する自治体施策－』東洋館出版社		大桃敏行・背戸博史 編、14 名	198-212
・戦後改革期の田中耕太郎の教育権論における両親－教師－国家の関係の再検討	単	2006.2	東北教育学会研究紀要第 9 号			29-42
・田中耕太郎の「教育権の独立」論の再検討－中央・地方教育行政と教師との関係に着目して－	単	2001.11	日本教育行政学会年報第 27 号			83-94

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数(監修訳書の場合)	該当頁数
学術研究発表						
発表テーマ			発表年月(西暦)	発表場所		
・学校現場実習に対する学生の意識の変化(1)－実習前、実習中、実習後の性別による意識の検討－			2022.8	日本教育心理学会第 64 回総会		
・学校現場実習に対する学生の意識の変化(2)－不安の高低と自己肯定意識と			2022.8	日本教育心理学会第 64 回総会		

の関連からの検討ー	・学校現場実習に対する学生の意識の変化ー1年間の追跡調査のデータを用いてー(関塚麻由、荒井明子、岡敬一郎)	2019.9	日本教師教育学会第29回研究大会(岡山大学)
	・学校現場実習の効果的実施に向けた学生支援(荒井明子、氏家靖浩、岡敬一郎、関塚麻由、大泉徹)	2019.8	日本学校教育相談学会第31回研究大会(東北福祉大学)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育学会		2003.3
日本教育行政学会		1999.4
日本教育制度学会		2000.7
教育史学会		1999.4
日本教師教育学会		2018.9
東北教育学会	紀要編集委員(2019.4～)	1999.4

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度(西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額(円)
・科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)	2020-2023年度	基盤研究(C)・研究代表者	戦後改革期における教育の専門的自律性論議に関する実証的研究	

3. 特記事項

- ・福島県立福島南高等学校 模擬授業「学校の役割を考える」(2020.10)
- ・全国私立大学教職課程協会 緊急オンライン・シンポジウム報告「東北地区における教育実習・介護等体験の現状と課題」(2020.6)
- ・全国私立大学教職課程協会 理事(2019.5-2020.12)
- ・宮城県教職員育成協議会養成部会 構成員(2019.4-)
- ・仙台市教員育成協議会 会員(2019.4-)
- ・仙台白百合女子大学教職課程研究センター センター長(2019.4-)
- ・千葉・茨城地域私立大学教職課程研究連絡協議 2018年度第2回研究会報告「秀明大学学校教師学部における教職インターンシップの現状と課題－教育実践演習Ⅰ・Ⅱを中心に－」(2019.2)
- ・印西市教育振興基本計画学校教育編検討委員会 委員長(2016.4-2018.3)
- ・印西市教育振興基本計画策定委員会 委員(2016.4-2018.3)
- ・第1回八千代教育サミット 基調提案「学生ボランティアの現状と課題」(2014.8)
- ・茨城県立境高等学校 出前授業「教育基礎論－教師になるために必要なこと」(2012.10)